

令和7年度

第15回

# 子ども議会

千葉県開府900年  
そしてその先へ  
わたしたちができること

第15回千葉県子ども議会は、「千葉県開府900年 そしてその先へ わたしたちができること」をテーマに、小学校5、6年生の子ども議会議員が6グループに分かれ開府900年を盛り上げる事業や千葉市の未来を考えた提案を行いました。

全4回の学習会を通して話し合いを重ね、グループの提案内容を精選し、当日に向けて準備しました。第2回学習会では、市の担当者に提案に関わる事業について直接質問したり、アドバイスをもらったりしました。

子ども議会当日は、各グループがタブレットPC（ギガタブ）等を活用して提案資料を作成し、大型モニターに資料を映して発表を行いました。自分たちの提案をわかりやすく伝えられるようにポスターを取り入れるなど、工夫して発表することができました。

## 1 開催の目的

- 本市の子どもたちが、本市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人がいきいきと幸せに暮らせる街づくり」に向けた具体的な提案や質問を行う中で、千葉市民としての意識を高める。
- 子どもの視点から生まれる疑問や質問を、市長・市政に届ける。

2 開催日時 令和7年7月25日（金）9：00～12：00

3 開催場所 千葉県議会本会議場

## 4 出席者

- (1) 子ども議会議員35人（公募による市内の小学5、6年生）  
ファシリテーター10人（市内の中学生）
- (2) 市政担当者  
神谷市長、大木副市長、橋本副市長、鶴岡教育長、大町こども未来局長
- (3) 市議会議員  
松坂議長、川合副議長、阿部教育未来委員長、岡崎教育未来副委員長

## 5 内 容

### (1) 学習会 ～子ども議会開催に向けて～

第1回学習会では、市長より本市の現状や取組、課題についての話をしていただきました。

第2回では、正庁にて、提案に関わる市の担当者に直接話を聞き、提案内容を具体的に検討しました。

第3回では、グループごとに集まり、発表原稿やスライドを作成し、提案に向けての準備をしました。



＜神谷市長講話「いよいよ来年！千葉開府900年」＞



＜市の担当者との提案内容に関する学習会＞



＜グループごとに提案発表の準備・練習＞

### (2) 子ども議会当日

グループごとに工夫した発表を行い、「千葉開府900年 そしてその先へ わたしたちができること」をテーマに、千葉市をより良くするための提案をしました。



＜中学生のファシリテーターによる進行＞



＜大型スクリーンに資料を映して提案＞



＜グループで提案する子ども議会議員＞



＜市長の答弁を聴く子ども議会議員＞

### (3) 提案・答弁の内容

#### ①「やっぱり私は千葉が好きグループ」

◇千葉市魅力博覧会を開催して、千葉市の名物や姉妹都市にゆかりのあるグルメを味わう企画など、千葉市の魅力を発信することを提案します。

◇子どもがツアーガイドを担当し、千葉市にゆかりのある場所を巡る千葉常胤ツアーの開催を提案します。



○千葉市の観光的な魅力は、海や緑、歴史、食がバランスよく揃い、プロスポーツや音楽フェスに若者が集まる都市であることです。これまで、加曽利貝塚、大賀ハス、千葉氏、海辺の「4つの地域資源」を中心にPRを進めてきましたが、今後は市役所だけでなく企業等と連携した効果的な発信が重要です。友好都市との関係を活かした発信については、ヒューストン市やアスンシオン市など世界7都市との交流を通じ、食文化に注目したイベントが効果的だと考えています。食は身近で親しみやすく、言葉の壁を越えて自然な交流が生まれるため、多世代が楽しめる工夫を凝らしてまいります。

○千葉開府900年という節目に向けたイベント開催は大変良いアイデアです。現在、企業や団体の皆様と記念プログラムを検討中ですが、本日いただいた皆様のアイデアを盛り込めるよう可能性を検討していきます。具体化には皆様のご協力も必要ですので、よろしく願いいたします。また、昨年度の提案から実現した歴史クイズをさらに発展させたクイズラリー案も、街の歴史を知る良い取組です。デジタル技術をさらに活用し、参加しやすく効果の見える仕組みを考えてまいります。

#### ②「親子三代夏祭り誰でも担げるおみこしグループ」



◇千葉市への願いや思いを込めた「願い神輿」を作ることを提案します。

◇誰でも撮影できるフォトスポットの設置について提案します。

◇市民・外国の方向けSNSで、祭りの魅力をPRすることを提案します。

○千葉開府850年を機に始まった「親子三代夏祭り」は、三世代にわたって楽しんでいただける市民参加型のお祭りとして続いてきました。今回のアンケート結果では、認知度が低いことがわかり、PR不足を感じているところです。本祭りは、踊りや太鼓、山車など地域の魅力を結集し、市民の手で作りに上げてきた千葉市の夏の風物詩であり、今年で第50回の節目を迎えます。これからも伝統を磨き上げ、将来へつないでいくことが重要です。そうした中、ご提案いただいた「願い神輿」は、将来の千葉市への願いを付箋に託すという素晴らしいアイデアです。神輿を担げない人も一緒に祭りの雰囲気を楽しむことができます。私自身の願いもぜひ貼らせていただきたいと思えます。すでに製作していただいた神輿をプログラムにどう反映し、多くの方に参加していただくか、皆さんの意見を伺いながら検討いたします。当日の運営もぜひお手伝いいただければ幸いです。

○神輿との記念撮影は大切な思い出になるだけでなく、SNSを通じた魅力発信の絶好の機会です。来年の開府900年に向け、見せていただいた動画などのPR方法も活用し、多くの方に参加いただけるイベントを企画してまいります。

### ③「自然・環境グループ」

◇街中や公園で見かけるゴミを減らし、きれいで行ってみたい街にするための提案をします。

◇千葉市の自然に目を向け千葉市の魅力を再発見してもらうための工夫について提案します。



○市内の駅前を中心にゴミゼロに向けた見回りを行っておりますが、さらなる対策が必要だと考えております。ご提案の「ご当地ゴミ箱」は、ゴミ捨てを楽しくし、市のPRやフォトスポットとしても活用できる興味深い提案です。街中への常設には防犯上の課題もありますが、イベント会場の「エコステーション」に地域のイメージを取り入れることで、分別の徹底や資源化の推進に繋がれるよう具体化を検討してまいります。ゴミ自体の量を減らし、資源回収や生ゴミの堆肥化といった取組を深めることが重要であるというご指摘も、その通りだと考えております。

○千葉市には千葉公園の大賀ハスや稲毛の浜、泉自然公園など、都心に近いながらも豊かな自然が数多くあり、大きな魅力となっています。これらを「千葉市からの挑戦状」というユニークなネーミングで発信するご提案は、自然の魅力を再発見してもらう上で大変参考になりました。今年度からはアプリ「バイオーム」を活用した生き物調査も始まります。こうした新しい試みや皆様のアイデアを参考に、身近な自然に興味を持ち、その大切さを知っていただけるよう、引き続き取組を進めてまいります。

### ④「健康・福祉グループ」



◇社会参加や運動に繋がるラジオ体操の推進について提案します。

◇スポーツやスタンプラリーなど、みんなが参加できるあたたかハート交流会について提案します。

○千葉市は市民の4人に1人が高齢者となり、人生100年時代を迎えています。健康寿命を延ばすには、運動、食事、人との交流が重要です。市内で約830団体が活動するラジオ体操は、健康づくりや地域のつながり強化に極めて効果的です。千葉開府900年を記念した先日の巡回ラジオ体操には1,000人以上が参加し、本市のラジオ体操の盛んさが改めて証明されました。若い方々との交流も大切ですので、ぜひ皆さんも地域活動に参加していただきたいと思います。また、ご提案いただいた「開府900年バージョン」の体操や、運動後の健康的なお弁当配布は大変面白いアイデアです。早朝の準備等の課題を含め、具体化を検討してまいります。

○年齢や障害の有無にかかわらず楽しめるスポーツフェスタやポッチャ大会等のイベントを通じ、交流を深めています。ご提案のスタンプラリーや移動図書館の派遣についても、皆さんと一緒に具体的な取組を考えていきたいです。また、周囲への配慮を知らせる「ヘルプマーク」の普及は重要です。障害への理解を広め、自然と手を差し伸べ合える社会を目指し、啓発に取り組んでまいります。皆さんも生活の中で何ができるか、引き続き考えてみてください。

## ⑤ 「子ども・教育グループ」

- ◇公園の管理やルールについて学ぶウォーククイズラリーイベント、集まった人とつながる課外活動イベントについて提案します。
- ◇自分の考えを伝えることの楽しさや大切さを子どもたちに広めるためのチャレンジ授業について提案します。



- 皆さんがよく利用される公園を舞台に、その役割や維持管理を学ぶ機会を作ることは、楽しみながら学べる一石二鳥の良いアイデアだと思っております。公園の利用ルールは市役所が一律に決めるものではなく、地域の皆さんと共に決めていくものです。ご提案いただいた「青空公園教室」「星空公園教室」については、地域ごとの課題に合わせ、誰を対象にどのような内容で実施するか、地域の皆さんと一緒に考えていくことが大切です。市役所もサポートしますので、皆さんと共に提案を具体化していければと思います。
- 教育現場においても、自分の意見を述べる環境作りを推進しています。授業でのディスカッションや児童会・生徒会活動を通じ、自分の言葉で伝える楽しさを実感できるよう支援しています。「自ら考え、学び、行動できる力」の育成を目指し、ICTを活用した探究的な学びを充実させ、「わかった」「できた」と感じられる授業を推進してまいります。「わくわくドキドキするチャレンジ授業」やワークショップの発想を取り入れることで、学習方法や活動時間がより柔軟になり、皆さんの主体性がさらに伸びる可能性を感じました。ICTによる新しいつながりの提案も含め、今後の取組に活かせるよう検討してまいります。

## ⑥ 「都市・交通グループ」



- ◇公共交通機関の利用促進と道路の緑化で、CO<sub>2</sub>削減を目指した街づくりについて提案します。
- ◇安全で衛生的な公園のトイレにするための工夫について提案します。

- 路線バスの利用は脱炭素につながる有効な取組であり、生活に不可欠な路線を維持するためには利用促進が重要です。市内のバス事業者と意見交換を進めるほか、「千葉市エコチャレンジ」でのPRを強化し、市民の皆様が積極的にバスを利用したくなる仕組みを検討してまいります。道路の緑化については、景観向上や温室効果ガスの吸収、熱中症対策など多くの機能があります。「緑と水辺の都市宣言」に基づき、本市の特徴である豊かな緑を維持しながら、課題となる街路樹の維持管理については地域の皆様と協議して進めます。特に千葉駅からの中央公園プロムナードは、車中心から人中心の「歩きたくなるまち（ウォーカーブル）」への転換を目指し、緑を活かした魅力ある空間づくりを議論しています。
- 公園トイレの快適化は喫緊の課題です。清掃回数の増加や設備の更新に加え、行動科学を用いたマナー向上策も検討中です。ご提案いただいた「子どもによるアナウンス」は、子どもから大人までが自発的にきれいに使う意識を持つきっかけとして非常に面白いアイデアであり、今後の施策の参考にさせていただきます。

## 6 神谷市長の講評

この千葉市議会の場合は、市議会議員の皆さんと私たちが、今の千葉市に必要なこと、そして将来の千葉市のために今なさねばならないことは何かを議論している場所です。今回の「子ども議会」では、議場内のモニターを活用したスライド資料や、手作りのポスターなど、本当に工夫を凝らした素晴らしい発表資料が提示されました。どのグループも大変わかりやすい質問にまとまっていたと思います。皆さんが長い時間をかけて準備し、熱意を持って取り組んでいただいたことに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。千葉市の将来を担うのは、皆さんです。今の千葉市の現状と課題について話し合いを重ね、来年迎える記念すべき節目の年を盛り上げるための具体的な企画や、その先の未来を見据え、市民一人ひとりの幸せを考えた具体的な政策を提案していただきました。皆様の提案を伺い、私自身もとても楽しく、また嬉しく思っております。今回の学習会は、かなり前から取り組んでこられたと伺っております。学校の枠を超えてグループで質問を練り上げ、皆さんの視点から生まれた提案や質問を、子ども議員ご自身の「生の声」として直接届けていただいたことは、私たちにとって非常に貴重な機会となりました。どのグループの発表も、子ども議員お一人お一人の柔軟な発想と独自の視点が活かされており、大変印象深いものでした。

続いて、中学生の皆さんへのお礼を申し上げます。今回は「ファシリテーター」として参加し、子ども議会のサポートを進めていただき、ありがとうございました。皆さんは、子ども議員たちの意見をまとめたり、より良い提案となるよう助言したりと、大いに尽力してくれました。中学生の皆さんにとっても、今回の経験は非常に良い学びになったのではないのでしょうか。

今回特に感じたのは、小学生から中学生へ、あるいは中学生から小学生へと、社会に参加する意識が引き継がれているということです。単に意識だけでなく、過去の質問を受け継いで、さらに成果や取組を進化・発展させていく姿が見られました。中学生が小学生と連携して取り組んでいたことは、本議会の大きな成果の一つであると考えます。これからも千葉市役所の取組にぜひ注目し、皆さんの意見を届けてください。

## 7 子ども議会議員の声から ※一部を抜粋しています

実際に市議会の議場で、市長や副市長、教育長に自分たちが考えたことを直接伝えることができてよかったです。

学習会では千葉市の現状を市の担当の人たちから教えてもらい、千葉市の未来について、たくさん考えることができてよかったです。

## 8 提案の実現に向けて

### こども・若者の力 ワークショップ 「ラジオ体操と健康献立弁当づくり」



<開府 900 年体操を検討>



<活動の様子>

令和7年度子ども議会「健康・福祉」グループの提案を受け、「こども・若者の力ワークショップ」において市内の小中学生17名が活動しています。ラジオ体操をモチーフに「千葉開府900年体操」を考えて動画撮影をしたり、こどもたちに健康を意識した、千葉市の食材等を生かしたお弁当や、栄養に関するクイズなどを作ったりする予定です。